

国民健康保険税

子どももの均等割の廃止を

川棚町の国保世帯数は1807世帯。全世帯数31.5%。滞納数は111世帯。国保世帯数の6.1%です。川棚町の国保税は長崎県下でも一番高くなっています。4人家族の標準世帯（年間）で、佐世保市は48万4200円、佐々町は44万3700円。川棚町は59万5600円です。辻きよと議員は高すぎる国保税の引き下げを、特に子どももの均等割制度の廃止を求め質問しました。



辻：国民健康保険の均等割の制度は家族の人数で課税され、子どもの多い世帯に負担が重くなることから、子育て支援の為に、子どももの均

等割り制度を廃止すべきと考えるが、町長の見解は。町長：本町では、所得割、被保険者均等割り及び世帯別平等割の合計額としている。金額につきましては、被保険者から徴収すべき保険税額を基に、県から示される標準税率を参考として、川棚町国民健康保険税条例で定めている。地方税法の規定により、被保険者均等割り額を課すこととされているので、被保険者の一部を対象とするものであっても廃止することはできない。

庁舎屋上に太陽光パネルの増設を



川棚町役場

近年、地球温暖化と言われてきましたが、現在は「地球沸騰化に突入した」と国連グレートス事務総長が記者会見し、各国政府に強力な対策を至急取るように促したと報道されています。気候危機と呼ぶべき非常事態が起こっています。世界各地で異常な高温、巨大化した台風と猛暑、森林火災、干ばつ、海面上昇などが大問題になっています。辻きよと議員は、「2030年までのCO2削減に人類の未来がかかっている」と、川棚町でのCO2削減について質問しました。

辻：国からの要請で、川棚町も温室ガス削減CO2削減目標や指針を出すことになっているのではないかと。どんな内容になっているのか。町長：現在の計画をホームページにて公表している。辻：温室ガスCO2削減の為に、庁舎の屋上や屋根全面に別館も含めて太陽光パネルを設置してはどうか。現在、本館屋上西側に46枚のパネルが設置されており、年間約70万円の発電量で見込みでしたが、川棚庁舎内で使用されている電力料金年間約800万円には程遠い。町長：太陽光パネルの屋根全体に設置する事については考えていない。

東彼地区環境センター（し尿処理施設）の継続使用について

東彼3町の福祉組合議員全員協議会が9月21日に行われ、使用期限が迫る東彼地区環境センターの使用について、地元住民の合意を得て継続することが決まりました。3町で管理している施設は他に、養護老人ホーム・ひさご荘、東彼地区清掃工場（焼却施設）、川棚斎場等があります。



「活きいきタクシー利用券」の増加を求める請願書が採択

「川棚町政を考える会」から出された「活きいきタクシー利用券」の増加（現在24枚支給を36枚支給に）の請願が、賛成11、反対2で採択されました。辻きよと議員が紹介議員になりました。

自衛隊への若者名簿提出断る

辻きよと議員は9月12日の総務委員会で、「自衛隊から、若者の名簿提出を依頼され、提出して断るのか」と質問しました。町長は、「町に依頼があつたが断った」と答弁しました。